

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



創 立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会 場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金1-2
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / kouanarc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2022年(令和4年) 10月 6日(木) くもり 第2741回(当年度第 10回)例会

点 鐘
 国家斉唱
 司 会
 ローターリーソング斉唱
 四つのテスト唱和

会長 富永 典夫君
 「君が代」
 SAA 片平 博己君
 「奉仕の理想」
 沢田 昌久君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及ビジター紹介



米山奨学生 タンヤピシット・シタン君
 ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



会長 富永 典夫君

今月は米山月間です。先月の22日にクラブ米山奨学委員長会議と米山学友会の総会があり出席して参りました。タンヤピシット・シタン君も出席され、留学生や米山学友会の方々の活躍を目にして感動致しました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリー(RI)からも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

★ 支援の対象は外国人留学生 事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2019年4月採用の奨学生数は全国で869人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界129の国と地域からの留学生2万1,024人を支援しています(2019年7月1日現在)。

★ 世界の平和を願って始まった国際奨学事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブ(RC)の当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。「米山」とは、“日本のロータリーの父”と呼ばれた米山梅吉氏(1868~1946)のことです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京RCの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する、という事業の目的を今日まで貫いてきました。

★ 最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度 その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡し 役と

なります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。皆様にはこれからも米山奨学生に対してご協力をお願いします。

米山奨学金授与



タンヤピシット・シタン君
幹事 岩田 進市君

幹事報告 -別紙-

出席報告

委員 木本 寛君

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率 |
|-----|------|------|--------|
| 46名 | 32名 | 14名 | 78.04% |

ニコボックス

委員 木本 寛君

○クラブフォーラム米山記念奨学委員会タンヤピシット・シタンさんようこそ江南ロータリークラブへ！

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平

各君

○米山記念奨学委員会のクラブフォーラム、タンヤピシット・シタンさんの卓話です。よろしく願います。

加藤 義晴君

○クラブフォーラム米山記念奨学委員会タンヤピシット・シタンさんようこそ江南ロータリークラブへ！

倉知 正憲、松岡 一成、伊藤 靖祐、岩田 静夫、長瀬 晴義、中村 耕司、富田 清孝、近藤 道磨

各君

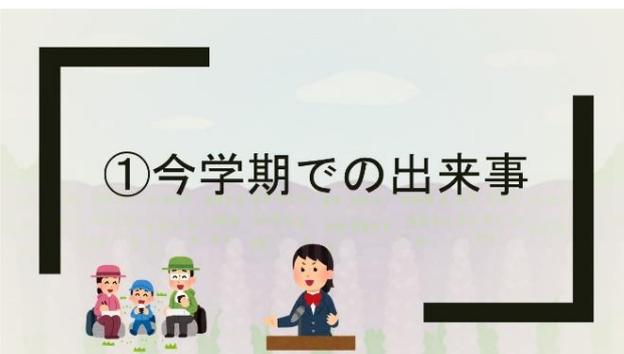
卓話



クラブフォーラム米山記念奨学委員会
米山奨学生タンヤピシット・シタン君
「タイの歴史と修士論文の紹介」

今回の卓話

- 今学期での出来事
- 修士論文の紹介
- タイについての豆知識



②修士論文の紹介



第1章 国際司法裁判所と勧告的意見

- 本研究の第1目的である、主要な司法機関の裁判外の役割及び重要性を明らかにすることである。それを明確にするために、ICJの勧告的意見制度を予かりにし、PCIJから踏襲し継受した国際紛争の解決の「アドバイザー」としての機能、とりわけ、勧告的権限及び機能について概観する。国連の主要な司法機関という実質を探るには、まず、国際裁判概念と国際司法制度の発展の過程を概観することにする。ここでは、そもそも国家間の紛争を裁判で解決するという発想（歴史的背景）について考察し、勧告的意見制度の由来と起源を探ることを通じ、現在の勧告的意見制度の特徴や課題を明らかにする。

第2章 ICJの勧告的管轄権

- ICJの勧告的意見権限の行使は義務的ではなく、許容的であるとの見解に関して、勧告的意見の要請及び要請主題に対して、ICJがどのように対応して勧告的意見権限を行使するか、という問題が生じる。ここでは、ICJの裁判官による勧告的意見手続きあるいは過程の問題について考察を行う。
- 第2章では、これらの勧告的意見の類型化作業を踏まえ、ICJの対象となる「法律問題」とはどのようなものなのか、それに対してICJは、有している自由裁量をどう判断し、管轄権を行使するであろうか。ICJの自由裁量は果たして「司法機関」の実質に関係があるのであろうか。さらに、自由裁量と裁判所の管轄権行使の判断を明らかにすることによって、国際紛争や国際的諸問題の国連による処理過程において国連の主要機関、とりわけ、主要な司法機関における国際紛争解決機関としての役割は何かにつながるではないか、とのことを期待している。

第3章 勧告的意見の形成と条約解釈手法

- 第3章は、勧告的意見付与の許容性、とりわけ、ICJ勧告的意見管轄権を行使する決定的な理由及び裁量の余地の問題について明らかにしたい。ICJの勧告的意見裁量権を明らかにするために、裁判所が勧告的意見を与えている際にどのような解釈論で勧告的意見を与えているのかに関し、「条約解釈手法」を用いてICJがいかなる結論で勧告的意見を与えているのか、を明らかにすることが本章の目的である。
- 第3章では、第1章で類型化した要請事項を利用し、裁判所における条約解釈手法、いわゆる、裁判所が要請された認問事項に対し、裁判所はいかに解釈論で勧告的意見を与えるのか、また、裁判所の国際法解釈機関としての機能をいかに行使するのかについて明らかにする。条約解釈手法は、ウィーン条約法条約に基づき、大きく2つに分類することができる。しかし、ICJによる若干の勧告的意見事件によって条約解釈手法の混在が確認できたため、本論文では3つに分ける。第1に、文理解釈型である。第2に、目的論的解釈型であり、第3に、文理解釈と目的論的解釈型の混在である。

第4章 勧告的意見の役割と課題

- 第1章から第3章までの分析過程を踏まえ、ICJは勧告的意見制度を通じて司法的性格を示していると思われることから、第4章では、裁判外の機能及び勧告的意見の司法的性格、すなわち、勧告的意見制度の重要性について考察を行いたい。本章では、第3章で述べた自由裁量の考慮の1つの理論である解釈論を参考に、ICJによる勧告的意見権限行使の面における裁判所の自由裁量の問題は、裁判所の司法的性格に基づくものと、国連の主要機関たる地位に基づくものというように、これらの両者の観点から検討することが必要であることについて、裁判所の主張と司法的性格の考察を試みる。



③タイ王国の歴史と重要な人物



1) タイ王国ってどんな国？

- タイの正式な国名は「タイ王国」、英語表記は“Kingdom of Thailand”で、首都はバンコクです。
- 国民の9割以上が仏教徒で、多くの寺院があり、近代的なビル群と広大な豪華な寺院とのコントラストが特徴的な国でもあります。
- タイ王朝の歴史は、13世紀頃に誕生した初代王朝「スコータイ王朝」からはじまります。スコータイはタイ北部を統治していた「ラーンナー王朝」とも同盟を結び、その勢力を強めていきます。しかし、北部から台頭してきたアユタヤ王朝によって滅ぼされ、200年にわたる一人王朝は終わりを告げることとなります。
- 以後、アユタヤ王朝は貿易を中心に栄え、「トンブリー王朝」へと引き継がれることとなります。トンブリー王朝時代は戦争が絶えず、タークシン王の処刑によってわずか15年で幕を閉じることとなりました。
- タークシン王亡き後に即位したラーマ1世は内乱を鎮め、「チャクラー王朝」として、現在もその歴史を紡ぎ続けています。

2) タイ王国の歴史の重要な人物

- ラムカムヘーン王
- ナレースワン王
- ラーマ5世

スコータイ王朝の3代目国王です。統治期間は20年ほどですが、その間に諸外国との貿易で経済を潤し、タイ文字の制定や寺院の建立など、現在あるタイの礎を築いたといわれても過言ではない人物です。

アユタヤ王朝の21代目国王です。ビルマとの長きにわたる戦争で地味も勝利し、兵士の教育にも尽力した「雷神」としてその名を轟かせました。ムエタイの考案者です。

チャクラー王朝の5代目国王です。即位中に数々の改革を成功させ、タイの近代化を推し進めた名君として、今も国民から絶大な人気を誇る偉人でもあります。



2) タイ王国の歴史の重要な人物

- 日本からの人物：オークヤービムック（山田長政）

山田長政がソンタム王からもらったタイの名前「オークヤー・セナービムック」の意味が知りたくなりました。

「セナービムック」というのは、大阪外語大学名誉教授の赤木攻先生の著書「タイのかたち」によれば、「軍隊の領袖」といった意味で、このように敬称名というのは臣下の役割を示すようなネーミングだったとのこと。山田長政の役割は、「サムライ部隊を指揮してアユタヤ王室を守ってあげること」でした。



クイズ

1) 日本の醤油と似たような調味料は？

2) 水かけフェスティバル（ソングラーン）は毎月開催される？

A: 「ナムブルー」



A: 「毎年4月13日～15日の3日間」



点 鐘

会長 富永 典夫君

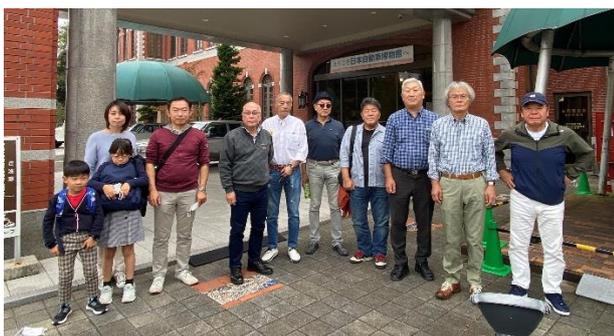
本日の食事



委員会報告

10月8日(土)～9日(日)

ドライブ同好会を開催しました。



石川県小松市
日本自動車博物館にて集合写真です

東尾張分区 IM 事前ディスカッション



10月14日(金)18:00より岩倉市生涯学習センターにて武藤栄司ガバナー補佐、浅野勝美岩倉RC会長、深見早恵IM実行委員長のもと東尾張分区IM事前ディスカッションが開催されました。

今回は「ロータリーの魅力とは」について小牧RC、名古屋空港RC、江南RCの3クラブ8名で話し合われました。当クラブからは堀尾庄一君、猪子明君、駒田洋平君の三人をお願いいたしました。堀尾君は自分自身のロータリー仕事の実体験。杉浦会長年度より始まった各種クラブ活動の紹介、特にワイン同好会の事業についてと次回開催の案内をお伝えし、お誘いをいたしました。猪子君はバッチについて。駒田君はいろいろな方との交流ができたこと等話されました。引き続き席を変え、懇親会が行われました。ディスカッションでの話題をお肴にいただきました。猪子君に於かれましては川崎会長年度の時の幹事(岩倉RC武藤ガバナー補佐、小牧RC小谷達也会長エレクト)の時の話に花が咲きました。本日のディスカッションを含め4つのテーマの様子をビデオ撮影し、編集された映像が2023年3月18日(土)東尾張分区IMにて上映されます。楽しみにしてください。

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください

(担当 早川 一三・山崎 博征)